

想いをつないだチャリティバザー

西高陽区



- 【上】見事な作品が机にならんだチャリティバザー当日
- 【中】代表して4名から、寄附と手作り竹細工が手渡される
- 【下】社会福祉協議会の窓口大切に飾られた作品

オレンジカフェパルなどで、いつもみんなをカメラで撮影してくれていた男性。手先が器用で、竹細工なども得意でした。そんな男性が患った病が悪化。作りためた作品が誰かのためになればと、仲間と共にチャリティバザーを企画します。しかし、準備を進める矢先に男性が入院…。他のスタッフは、男性を励ます意味も込めて、予定通りバザーを実施することにしました。

迎えた当日。公民館には西高陽区の内外からたくさんの人が訪れ、男性の作品を手に取りながら笑顔で話す姿が見られました。スタッフは、その様子を見て喜びつつも「男性にも見せたかった…」と寂しさで複雑な思いを抱きます。それでも、最後までみんなでバザーを運営し、予想を大きく上回る売上げになりました。

さっそく入院中の男性へ、バザーの報告とみんなが退院を待っているというメッセージを送るも返事はなし。バザーから5日後、男性は静かに息を引き取り「一緒に社協へ寄附を持って行こう」という願いは叶わぬ夢に。

3月25日、雨が降る中、4名が来訪。会長へ寄附を手渡した森さんは「今日の雨は、男性が空の上で喜びの涙を流しているんだと思います」と話してくれました。

男性の想いをみんなでつないだ、心あたたまるご寄附をいただきありがとうございました。

本年度も社協だよりを担当する川嶋です。また、脳トレが難しいんだよという声が聞こえますが、今年もお付き合いください。今年の社協だよりはこれまでとは違います。なにが違うのかといいますが、各号ごと編集こぼれ話を書く人が変わります。書く人の色がでると思うので、今から楽しみにしてください。

編集こぼれ話

さて、脳は「新しいことを学ぶ」「いつもと違うこととする」と活性化すると言われています。これは新しい体験が脳に適度に刺激を与えるからです。毎号書くという重圧から解放された安堵感と、片や書かない寂しさが共存している私。書かないという「新しい体験」で、物忘れが気になる私の脳は果たして活性化されるでしょうか。



次の担当はだれか？

みなさんの

地域の居場所

紹介します！

オレンジカフェ陽だまり (高陽区)

日時／毎月第1土曜日 10:00～12:00
場所／高陽区公民館 参加費／100円



介護予防サポーター
大活躍！

4月4日(土)、新たに高陽区で【オレンジカフェ陽だまり】がオープンしました。区の役員や寿会の協力を得て、中心となって準備を進めてきた介護予防サポーターの高松さんが「母が友人を亡くした時“行く場所がなくなってしまった…””と言っていたことを思い出す。そんな思いをする人がないように、みんなで居場所をつくろう」と参加者へ呼びかけました。当日は、5人の介護予防サポーターを中心に、認知症についての話や体操、クイズ、ビンゴゲームなど盛りだくさん。最後はみんなで机を囲み、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しみました。

高陽区以外の方も大歓迎！ いっしょに楽しい時間を過ごしましょう！



笑って、歌って、頭も体も体操して…笑顔いっぱい時間！